

ホームカミングデーに集まろう 同窓会＝学会支部活動の活性化のために

第21回「中央大学ホームカミングデー」（主催・中央大学）が10月28日に多摩キャンパスで開催されることになりました。本イベントは卒業生が母校に集まり、母校への理解と学員の相互親睦をはかることを目的に開催されています。卒業生の同窓会組織である学会の各支部も、毎回、支部活動の一環としてこのイベントを活用しています。

イベント当日は、地域支部、年次支部、職域支部、同窓会、ゼミOB・OGの集合場所として教室の貸出（事前申込必要）を行っています。多摩OBにとっては懐かしい、駿河台や後楽園OBにとっては物珍しい多摩キャン

パスの散策を楽しみ、その後、ヒルトップ（食堂棟）の生協学生食堂などで懇親会を開催する支部もあります。

また、飲食や古書販売などの模擬店を出店する支部もあります。模擬店出店の収益は会の活動費や大学への寄付金に充てるなど、支部活動の活性化のためにホームカミングデーは大いに活用できます。

今年は東日本大震災被災地の早期復興を祈願し、復興支援企画も検討されています。より多くの卒業生＝学員の参加で、イベントを成功させましょう。
※第21回ホームカミングデーの模擬店出店の申込は終了しています。



学会は支部（同窓会）の設立を支援しています

全国にはたくさんの中央大学卒業生の同窓会が存在します。この中で、学会本部に届け出をし、登録された学会支部は、地域・年次・職域などで226存在します。登録された支部は大学施設の利用や活動資金の補助などの支援が受けられます。

既に活動している地域や職場の同窓会、サークルのOB会で、学会支部の登録の届け出をしていない会や、これから同窓に呼びかけて新たな支部を設立しようとする方々は、学会本部にご相談ください。

※5月11日、12日の学会全国支部長会議、定時協議会・定時学員総会において、平成18年の総会で報告事項「(規約を厳格に履行するために)支部名称中に“白門”“白門会”を使うことを認めない」を撤回することが報告されました。今後は、既存支部の名称変更を認めるとともに、新設支部名に「白門」を含めることを積極的に働きかけていく方針が報告されました。

白門の朋

中央大学学会兵庫支部 (支部長・走出保雄さん)

兵庫支部は1926年（大正15年）に設立された伝統ある支部の一つです。年間の主要行事として、総会懇親会・学術講演会・ゴルフ会・囲碁会・ハイキング等を実施しております。

兵庫支部は日本海から瀬戸内海まで非常に広範囲で、阪神地区と但馬地区の会員との交流が途絶えがちのため、

一昨年からは阪神地区の会員が但馬を訪ね、カニ料理の一泊懇親会を実施するなど、相互の絆を深めてお



ります。また、近畿各支部との交流も「近畿は一つ」を合言葉に活発に行って団結を図っております。

秋の全日本大学駅伝大会（熱田神宮～伊勢神宮）には各支部観光バスで伊勢路まで応援に駆けつけていますし、定例支部交流行事の一つのゴルフ大会は毎回50名を超える参加者があり、

和やかに楽しく過ごしております。その他にも、各支部の花見等の行事にもお互いに積極的に参加しております。

今年は、新入会員の獲得を努力目標に掲げ支部活性化に努めます。まずは、「集い」・「接し」・「知る」が基本と考えて魅力ある支部にしたいと考えております。

